

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	情報マネジメント課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2170
	基本事業	電子行政の推進	事業実施主体	市	
	事務事業	超高速情報通信網整備事業	事業期間	平成 28年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	全ての市民が情報化の恩恵を享受・実感することができる地域情報化を推進するため、未整備地区への超高速情報通信網の整備を進め、そのうち、公設民営方式で整備した男木島の設備について、適切な維持管理を行う。				
6年度概要	男木島の超高速情報通信網等の維持管理				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	インフラ・施設等維持管理

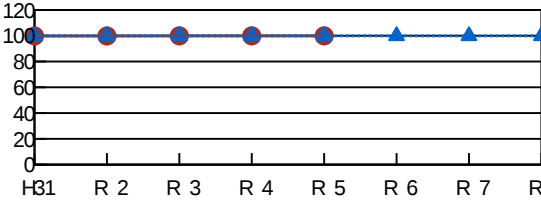
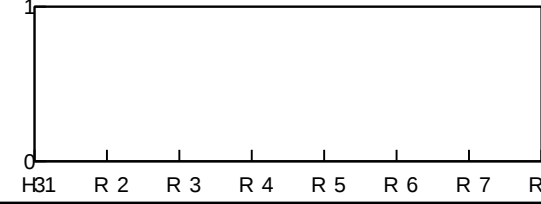
【事業の目的】

対象（何を）	超高速情報通信網が未整備のため、超高速インターネットサービスが未提供となっている地域の市民
意図（どのような状態にしたいか）	未提供地域における超高速情報通信網整備による超高速インターネットサービスの提供

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
島しょ部整備率	%	81.1	81.1	81.1	81.1	81.1

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
成果指標 市域における整備率	%	目標値	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9
		実績値	99.9	99.9	99.9		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	未整備地域である島しょ部の光ケーブル等の整備に関して情報収集した。 (目標達成度)						(達成度) 100.0%
							35点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
成果指標		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	(目標達成度)						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	625,970	24,950	17,988	18,815
（事業費）	〔円〕	618,420	17,466	10,461	11,288
（職員人件費）	〔円〕	7,550	7,484	7,527	7,527

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
令和 3年度に整備が完了した男木島の設備について、必要となる維持管理を実施したほか、当該設備を活用した地域課題の解決や地域活性化について、国、民間企業等からの情報収集や意見交換を行った。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
地域住民や民間企業等による当該設備の利活用が促進されるよう、国や民間企業等から超高速情報通信網の活用事例等の情報収集に努めるほか、当該設備に関するサービスの周知・啓発や適切な維持管理を行う。			

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	情報マネジメント課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2170
	基本事業	電子行政の推進	事業実施主体	市	
	事務事業	情報処理システム管理運営事業	事業期間	平成 28年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	本市の情報システム及び情報インフラを適切に維持・運用する。				
6年度概要	本市の情報システム及び情報インフラを適切に維持・運用する。				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	インフラ・施設等維持管理

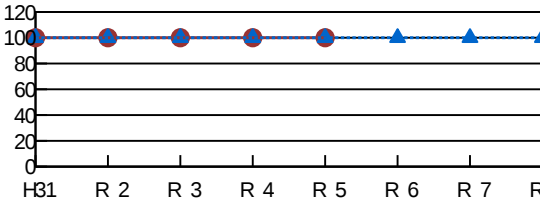
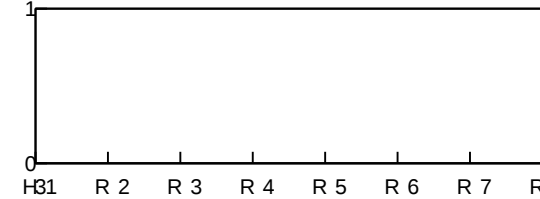
【事業の目的】

対象（何を）	本市の有する情報システム及び情報インフラ
意図（どのような状態にしたいか）	効率的な情報処理システムの管理・運用

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
年間のシステム障害（30分以上）対応件数	件	2	2	2	3	3

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5	
	インシデント解決率	%	目標値	100	100	100	100	100	
			実績値	100	100	100			
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								(達成度) 100.0%
	システム障害等インシデントの発生に対し、迅速かつ適切に対応し、すべて解決した。	(目標達成度)							35点
									
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5	
			目標値						
			実績値						
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								(達成度)
		(目標達成度)							

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	796,648	866,338	1,262,981	1,153,091
（事業費）	〔円〕	736,248	798,982	1,180,184	1,070,294
（職員人件費）	〔円〕	60,400	67,356	82,797	82,797

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
住民サービス等の業務が滞ることがないように情報システムや情報インフラの適切な運用・維持管理に努めたほか、障害発生時には、迅速に対応し、早期復旧を実現した。また、税制改正等の制度改正に伴う住民情報システムの改修を行った。情報システムや情報インフラの適切な運用は、効率的で効果的な行財政運営の根幹であることから、今後も適切な運用・維持管理に努める必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
情報システムや情報インフラの適切な運用・維持管理を行うほか、住民情報システム利用課と情報を共有し、税制改正等に対応するシステム改修を行い、本市のシステムやネットワークが円滑かつ安定的に稼働するよう努める。			

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	デジタル戦略課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2172
	基本事業	電子行政の推進	事業実施主体	市	
	事務事業	社会保障・税番号制度推進事業（デジタル戦略課分）	事業期間	平成 28年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	社会保障・税番号制度を効率的かつ円滑に推進し、行政の効率化や市民の利便性向上を図るため、その基盤となるマイナンバーカードの普及促進を行う。				
6年度概要					
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の種類	ソフト事業（法律による実施義務有）	

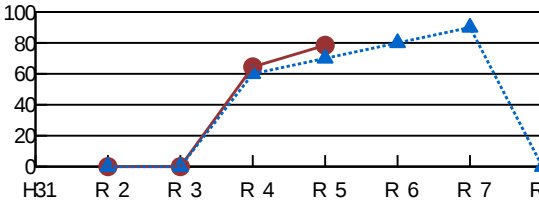
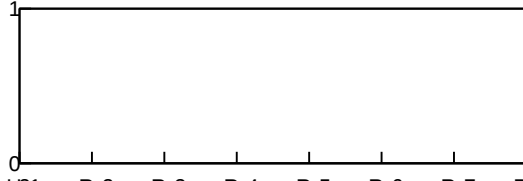
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	社会保障・税番号制度の円滑な導入・推進を図り、デジタル社会の実現と効率的な行政運営を目指すため、その基盤となるマイナンバーカードの普及促進を図るとともに、市民の利便性を向上させる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
普及促進キャンペーン年間実施回数	回	8	11	5	0	9

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	マイナンバーカード交付率	%	目標値	0	60	70	80	70
			実績値	0	64.46	78.44		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 本庁や市民サービスセンター、総合センターにおいて、デジタルカメラでの写真撮影及び紙申請を行うサービスを実施したほか、高松市内の各地域における商業施設等での出張申請イベントを実施した。これらの取組のほか、期限が延長されたマイナポイント第二弾の影響などにより、交付率が78%となり目標を達成した。	(目標達成度)						(達成度) 112.1% 35点
	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
			目標値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	(目標達成度)						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	72,327	87,258	56,404	0
（事業費）	〔円〕	63,267	78,277	42,855	0
（職員人件費）	〔円〕	9,060	8,981	13,549	0

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	統合
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 本庁や市民サービスセンター、総合センターにおいて、デジタルカメラでの写真撮影及び紙申請を行うサービスを実施したほか、高松市内の各地域における商業施設等での出張申請イベントを実施した。申請率と交付率に10%程度の開きがある現状である。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 社会保障・税番号制度が始まり9年余りが経過し、高松市のマイナンバーカードの申請率も85%を超えるなど、一定レベルの普及を達成した。今後はマイナンバーカードの利活用を中心に、自治体DX推進事業の中で取り組んでいく。			

令和 6年度（ 5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	市民課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2287
	基本事業	電子行政の推進		事業実施主体	市
	事務事業	社会保障・税番号制度推進事業(市民課分)		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	社会保障・税番号制度を効率的かつ円滑に推進し、行政の効率化や市民の利便性向上を図るため、その基盤となるマイナンバーカードの普及促進を行う。				
6年度概要	会計年度任用職員人件費 マイナンバーカード交付・更新関係				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

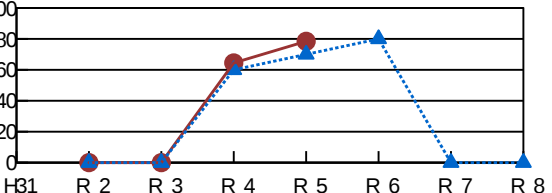
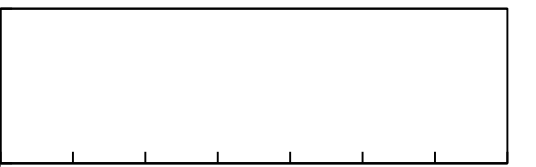
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	個人番号制度の円滑な導入・推進を図り、デジタル社会の実現と効率的な行政運営をめざすため、その基盤となるマイナンバーカードの普及促進を図るとともに、市民の利便性を向上させる。

【事業の活動】

【事業の活動】						
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
普及促進キャンペーン年間実施回数	回	8	11	5	9	9

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	マイナンバーカード交付率	%	目標値	0	60	70	80	7
			実績値	0	64.46	78.44		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	県や委託業者と連携し、企業や団体、商業施設等でのイベントで出張申請受付を積極的に行ったほか、国や県のマイナポイント事業の実施により、申請者数が大幅に増加し、交付率が78%となり目標値を達成した。 （目標達成度） 						
		 （達成度） 112.1% 35点						
		H31 R 2 R 3 R 4 R 5 R 6 R 7 R 8						
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	（目標達成度）  （達成度）						
		H31 R 2 R 3 R 4 R 5 R 6 R 7 R 8						

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	円	233,010	92,488	126,008	169,873
（事業費）	円	180,160	40,100	73,319	117,184
（職員人件費）	円	52,850	52,388	52,689	52,689

【評価】

評価ランク (A ~ D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
--------------------	---	--------------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

昨年度は、交付率の低い地域や介護施設への出張申請や委託業者を活用した商業施設での出張申請、県と連携した商業施設での出張申請を行う等の取組を実施するなど、マイナンバーカードの普及促進に努めた。今後は、健康保険証廃止等に伴うカードの申請者増加を見据え、カード交付手続を円滑に行えるよう、交付体制を強化する必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

マイナンバーカードの普及促進を図るため、引き続き、広報誌等において取得促進の呼び掛けを実施するとともに、企業や団体に出向く出張申請受付を継続する。

今後については、健康保険証廃止等に伴い増加する申請者や、マイナンバーカードの更新等を求める来庁者に対し、円滑に手続きが行えるよう窓口機能の充実や交付体制の強化を図る。

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち			評価担当	局名	総務局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立				課(室)名	デジタル戦略課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進				電話番号	087-839-2172
	基本事業	電子行政の推進			事業実施主体	市	
	事務事業	オープンデータ利活用推進事業			事業期間	平成 28年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	市民サービスの拡充や経済の活性化を始め、地域住民やコミュニティ、本市が抱える地域課題の発見・解決につなげるため、本市が保有するデータのオープン化やデータを活用できる人材の育成など、オープンデータの利活用を推進します。					
6年度概要						
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	

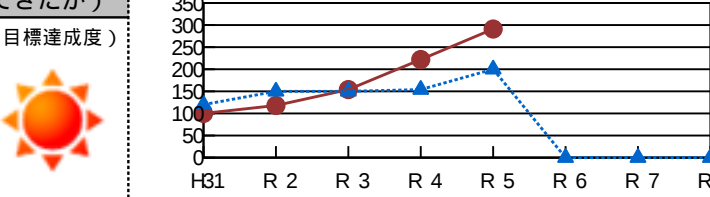
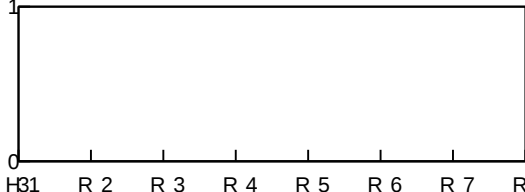
【事業の目的】

対象（何を）	公開可能なデータ
意図（どのような状態にしたいか）	データのオープン化を推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
オープンデータ利活用イベント等の開催回数	回	1	1	1	0	1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	オープンデータ件数	件	目標値	150	154	200	0	200
			実績値	154	222	291		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度) 145.9%
	各課が保有するデータを追加し、目標を達成することができた。	(目標達成度)						
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
		(目標達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	6,737	7,584	11,881	0
（事業費）	〔円〕	2,962	3,842	2,900	0
（職員人件費）	〔円〕	3,775	3,742	8,981	0

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	統合
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
各課が保有する新規データを追加する等、オープンデータ件数を増加させることができた。また、産学官連携の下、ハッカソン、ワークショップ等を開催し、データ利活用人材の育成を進めた。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
本事業の取組は、スマートシティ推進の一環であることから、スマートシティたかまつ推進事業と統合し、引き続き、新規データの追加等により、各課が保有するデータのオープンデータ化を推進する。			

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち			評価担当	局名	総務局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立				課(室)名	デジタル戦略課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進				電話番号	087-839-2172
	基本事業	電子行政の推進			事業実施主体	市	
	事務事業	スマートシティたかまつ推進事業			事業期間	平成 29年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	I C T・データの活用と産学民官の多様な主体が参画する「スマートシティたかまつ推進協議会」との連携により、本市が抱える地域課題の解決を図るため、I o T共通プラットフォームを活用して、様々な分野のデータの収集・分析等を推進します。					
6年度概要	システム運用・保守 協議会・ワーキンググループ等の開催 プログラミングコンテスト開催 デジタルデバйд対策 かがわD X L a b負担金					
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	6-	事務事業の種類	ソフト事業（法律による実施義務無）	

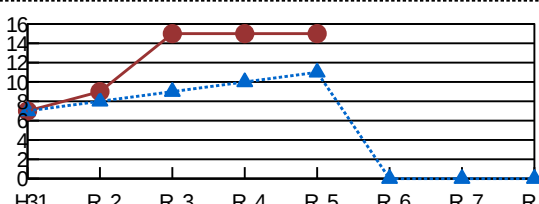
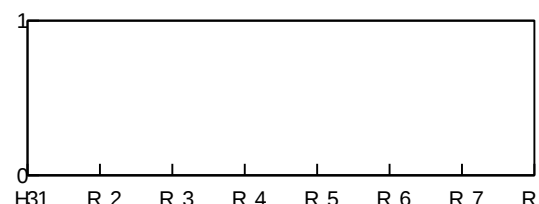
【事業の目的】

対象（何を）	共通プラットフォーム
意図（どのような状態にしたいか）	複数分野のデータ収集・分析や新たなサービスの創出

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
スマートシティ推進協議会・WG等の開催件数	件	14	12	18	15	19

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	共通プラットフォームで収集・分析するデータ種別数	件	目標値	9	10	11	0	1
		実績値	15	15	15			
		成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	 (達成度) 136.4% 35点					
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
			目標値					
		実績値						
		成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	 (達成度)					

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	65,944	702,568	109,064	98,840
（事業費）	〔円〕	50,844	687,600	81,967	62,710
（職員人件費）	〔円〕	15,100	14,968	27,097	36,130

【評価】

評価ランク （A～D）	A	今後の方向性 （拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
----------------	---	------------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

国のデジタル田園都市国家構想交付金（地方創生タイプ）の採択を受け、FACTで掲げた放課後 FACT-ory事業を実施した。 また、スマートシティ推進協議会と連携し、「スマートシティたかまつ」の実現に寄与する事業を行った。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

引き続き、産学民官の多様な主体で構成するスマートシティたかまつ推進協議会と連携しながら、スマートシティたかまつ推進プランに掲げる各種施策等を着実に推進する。
--

令和 6年度（ 5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち			評価担当	局名	総務局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立				課(室)名	情報マネジメント課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進				電話番号	087-839-2170
	基本事業	電子行政の推進			事業実施主体	市	
	事務事業	自治体DX推進事業（情報マネジメント課分）			事業期間	令和 4年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	行政手続の業務改革や制度の見直しを行い、デジタル技術やデータを活用した行政手続DXに取り組み、庁内の業務効率化を推進するとともに、住民の利便性向上を目指す。					
6年度概要	ChatGPT運用					
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	6-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	

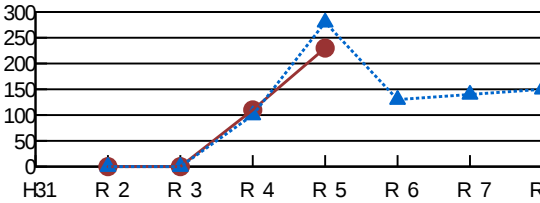
【事業の目的】

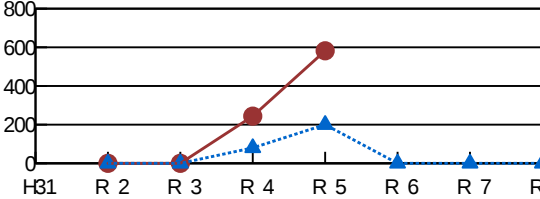
対象（何を）	庁内手続き					
意図（どのような状態にしたいか）	DXし、市民の利便性の向上と業務の効率化を図る。					

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
DX人材育成のための研修等開催回数	回	0	12	11	5	5

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
成果指標	行政手続のデジタル化実施件数	件	目標値	0	100	280	130	280
			実績値	0	110	230		
								
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
汎用電子申請フォームやびったりサービスの活用により、前年度よりも増加したものの、目標には及ばなかった。		(目標達成度)						(達成度)
								82.1%
								28点

成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
成果指標	デジタルツールを活用して効率化を図った事務事業数	事業	目標値	0	80	200	0	200
			実績値	0	244	582		
								
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
RPAやAI-OCR、AI議事録など、様々なツールが各課で利用されており、目標を上回ることができた。		(目標達成度)						(達成度)
								291.0%
								35点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	0	14,370	17,658	8,451
（事業費）	〔円〕	0	6,886	10,131	924
（職員人件費）	〔円〕	0	7,484	7,527	7,527

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
AI-OCR、AI議事録等の積極的な活用やRPAのシナリオの見直しなど、事業の実施により、全庁における業務時間の削減に一定の効果が得られた。更に自治体DXを推進するためには、業務フローの見直しや職員一人一人のITスキルの底上げを図る必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
デジタル戦略課と連携し、デジタル技術やデータを活用して、市民の利便性や行政サービスの向上、業務の効率化・最適化を図り、行政サービスの更なる向上に繋げていく。			

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	デジタル戦略課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2172
	基本事業	電子行政の推進		事業実施主体	市
	事務事業	自治体DX推進事業（デジタル戦略課分）		事業期間	令和 4年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	行政手続の業務改革や制度の見直しを行い、デジタル技術やデータを活用した行政手続DXに取り組み、庁内の業務効率化を推進するとともに、住民の利便性向上を目指す。				
6年度概要	DX推進にかかる人材育成 行政手続デジタル化促進 びったりサービス接続環境整備 汎用電子申請フォーム				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	6-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

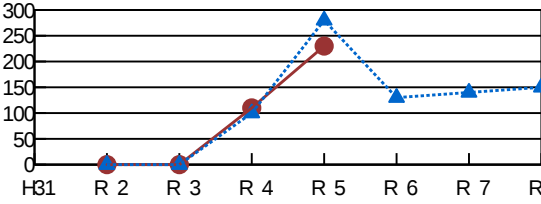
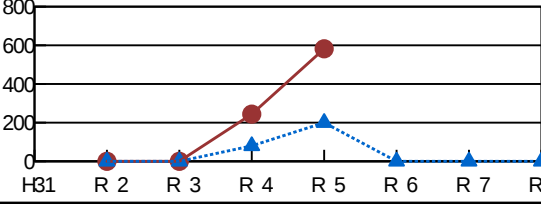
【事業の目的】

対象（何を）	庁内手続き
意図（どのような状態にしたいか）	DXし、市民の利便性の向上と業務の効率化を図る

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
DX人材育成のための研修等開催回数	回	0	12	11	5	5

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	行政手続のデジタル化実施件数	件	目標値	0	100	280	130	280
			実績値	0	110	230		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 汎用電子申請フォームやびったりサービスの活用により、前年度よりも増加したものの、目標には及ばなかった。							(達成度) 82.1%
								28点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	デジタルツールを活用して効率化を図った事務事業数	事業	目標値	0	80	200	0	200
			実績値	0	244	582		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） RPAやAI-OCR、AI議事録など、様々なツールが各課で利用されており、目標を上回ることができた。							(達成度) 291.0%
								35点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	0	7,462	18,154	54,995
（事業費）	〔円〕	0	2,972	3,100	18,865
（職員人件費）	〔円〕	0	4,490	15,054	36,130

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

ExcelやAccess、RPAなどのツール研修及び汎用電子申請フォームの実務研修を実施することにより現場職員のデジタルリテラシーとスキルセットの向上を図ることができた。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

国のシステム標準化方針を踏まえつつ、びったりサービスと各基幹システムを接続し、エンドトゥエンドでオンライン接続を実現するべく、申請管理システムの構築に取り組むほか、引き続きDX人材育成研修を継続的に実施し、職員自らが業務をより良いものに変革していくスキルセットの習得を目指す。また、業務の棚卸やBPRを実施しつつ窓口DXを推進していく。
--